内子中学校コミスクだより　第１号　（令和８年８月 18 日発行）

今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校

コミスクとは？

コミュニティ・スクールの略。「学校運営協議会」を設置している学校のことで、学校と保護者、地域住民等が当事者意識を持って学校運営に参画することで、地域の将来を担う子どもたちの豊かな成長を支える仕組みです。本校では、年間４回の学校運営協議会を開催し、目指すべき学校教育を実現するための話合いを行っています。

第１回学校運営協議会

４月 27 日に第１回学校運営協議会を開催しました。

委員の任命と役員の選出の後、学校経営方針の承認、運営計画の協議、情報交換を行いました。今年度は、熟議の充実に力を入れたいと考えています。

今年度の委員は次の方々です。

役　職	氏　名	所属（役職等）
会　長	山岡　　晋	八日市自治会長
副会長	上堂　恵子	民生児童委員
委　員	横田　光敏	教育委員
〃	西谷　昭男	内子自治センター館長
〃	武知　修一	内子東自治センター館長
〃	名本　高成	うちこ福祉館館長
〃	石尾真由美	主任児童委員
〃	池田　匠子	内子小学校運営協議会副会長
〃	曾根美智子	立川小学校運営協議会副会長
〃	山田　浩徳	石畳小学校運営協議会副会長
〃	山田　智子	学識経験者
〃	薦田由里子	地域コーディネーター
〃	山本　範彦	ＰＴＡ役員ＯＢ
〃	岩井美知枝	ＰＴＡ会長
〃	米田陽一郎	ＰＴＡ副会長
〃	佐伯　隆生	校長

＜事務局長＞　　泉　　正人（教頭）

第２回学校運営協議会

７月７日に第２回学校運営協議会を開催しました。

「不登校支援はどうあるべきか！」をテーマに、熟議を行いました。教職員５名を加え、５名程度のグループに分かれて話し合いました。様々な立場から意見が出され、大変活発な意見交換となりました。予定していた時間があっという間に過ぎました。（少し延長しました…）

グループでの話合いの後、出された意見を全体で共有しました。ある委員から「地域ぐるみの支援が必要だ」との意見が出されました。学校だけで解決しようとせず、地域の力を借りながら支援することの重要性を再確認することができました。具体的な手立てについては、実現可能なものから取り組んでいきたいと思います。

＜グループでの話合いの様子＞

＜全体での共有の様子＞

地域の力でこんな活動が実施可能に！

地域の協力を得て、１学期に次のような活動を実施することができました。

クリーン運動　（全校）

５月 19 日、高昌寺、五城保育園、本町広場、内子保育園、上芳我邸で作業しました。

蝋絞り体験　（３年生）

６月 11・12 日、上芳我邸を訪問し、蝋絞りの工程を体験しました。

廃油石鹸作り　（３年生）

６月 11・12 日、ＮＰＯサンラブの方の協力を得て、廃油石鹸を作りました。

福祉体験　（３年生）

６月 29 日、さくら介護を訪問し、入所されている方とふれあいました。

座談会　（１年生）

７月７日、地域おこし協力隊を招き、内子の自然・歴史・文化について話しました。

笹飾り制作　（全校）

７月８・９日、笹飾りを作りました。手作りの笹飾りで地域の祭りを盛り上げます。

【文責：泉　正人（教頭）】